

令和4年度 下呂市家庭教育支援チーム 成果と課題

<成果>

・今年度から、今までのUPカフェを見直して『子育てカフェ』という新たな形のカフェをスタートしました。コロナ禍で外出を控えたり、行事が減ってきたりしたことで、ママさん同士の交流が少なくなり、自分の子どもと同級生になる子がどこにどのくらいいるのか分からない、知りたいという声を受けて、年度別カフェを考えました。しかし、1回のカフェで限られた年度の親子だけを対象にすると、なかなか参加者数が増えないことが中間報告で分かってきました。そこで、後半の子育てカフェは、年度不問で来ていただき、グループトークで年度ごとに分けるようにしてみました。また、そのタイミングで対象世帯にチラシを郵送することも初めてやってみたので、申込みが増えました。DMの効果の大きさを実感できたので、来年度も年間日程が決まった段階でDMを打ちたいと考えています。

・6/5に年度不問の子育てカフェとして初めて日曜開催を行ってみて、平日では来られない方の参加がみられました。催し物も人気のある講師の方をお呼びできたので、親子で楽しめる体操で喜んでいただけました。働くママさんが増えてきている中で、少しでも子育て世帯につながる活動となるように、来年度も日曜開催で同じ講師の方に来ていただき、普段のカフェに参加できないママさん同士の交流の場としていきたいと思っています。

・赤ちゃんカフェは、昨年度より申込みも参加者も増えました。コロナによる行動制限が減ったことと、DMによる周知が功を奏したことが考えられます。また、少ない赤ちゃんでも参加されたママさんとの連絡を密にすることで、できるだけ継続して参加できるように職員が働きかけてきたからだと思います。

・いずれのカフェでも、グループトークでのママさん同士のおしゃべりがストレス発散になっていることがアンケート結果から分かります。子育てで悩んだり、迷ったりしているママさんにとっては、誰かと話すことで救われる、聞いてもらうだけでスッキリするのだと思います。それによって、子どもに対する気持ちに少しでも余裕ができて、辛さや苦しさは軽減できるのだと思います。アンケートにカフェの成果が出ていると思います。

<課題>

・どこにどれだけの赤ちゃんがいるのか、という情報を地域振興課と共有できると、カフェ活動の成果をより具体的に把握できると思います。子どもが激減してきている中だからこそ漏れなくフォローできる体制が確立できると良いかと思います。但し、プライバシーの問題もあるので、可能な範囲でのみとなると思います。

・コロナ対策が緩和される傾向にあるので、カフェでのマスク着用のお願いや飲食の可否などは今後変わってくると思われます。それら一つ一つの対応判断が新年度は多くなるかと思われます。

・職員不足と共に託児者不足も実感しています。サンはぎわらやふるさと金山との連携でより良い人材の確保、育成を図ってきたいと思っています。